

山形県山形市

モニュメント

【概要・アピールポイント】

- ・選手村ビレッジプラザで採用されたレシプロカル架構を模したモニュメントを設置した。
- ・東京2020大会レガシー材であることや木材利用の意義等をプレートに表示した。
- ・除幕式を開催し、これまでの取組みについてPRした。



■ 資材提供のきっかけ

プロジェクトへの参画を通して、山形市産材のPRや林業の活性化に寄与したいと考えて応募した。

■ 提供した木材の概要

山形市南西部の「山形県県民の森」内に位置する、標高約600m、面積約34haの山形市有林板橋山から、地元の西山形地区の皆さんが植林し、大切に手入れしてきたスギの木を約42m³提供した。

■ 用途

・モニュメント 2基
プロジェクト参画の証を大会レガシーとして後世に残すため、選手村ビレッジプラザで使用された木材を使って、レシプロカル架構を再現したモニュメントを設置した。

■ 用途決定までのプロセス

提供木材を伐り出した地元である西山形地区コミュニティーセンターの改築にあたり、多くの市民の皆さんの目に触れるよう、モニュメントを設置するに至った。

■ 完成/使用開始時期

2022年4月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

西山形コミュニティーセンター内玄関

■ 完成まで・完成後のエピソード

地元西山形地区の皆様や林業関係団体等50名にご参加いただき、モニュメントの完成を祝した除幕式を開催した。併せて、パネル展示を行い、取組みのPRを行った。

USED IN VILLAGE PLAZA
Yamagata City
山形市

東京2020
オリンピック・パラリンピック
競技大会レガシー

「山形市は、東京2020オリンピック・パラリンピック選手村ビレッジプラザ「日本の木材活用」コーナーのみならず、選手村ビレッジプラザへのプロジェクトに参画し、西山形地区の人たちが地区振興のため、昭和の時代に植林した板橋山市有林（大字町板橋山）のスギ材約42m³を提供しました。このモニュメントは、プロジェクト参画の証を大会レガシーとして後世に残すため、実際に選手村ビレッジプラザで使用された木材を使って、レシプロカル架構（かこ）を再現したものです。レシプロカル架構とは、3本の柱をツノスミとスミ和柱により耐震性を高める構造で、選手村ビレッジプラザで採用された工法です。3本の柱で屋根を支え合う様子からオリンピック関係者の間では、「絆（きずな）工法」の愛称で呼ばれています。

選手村ビレッジプラザの様子

詳しくは山形市ホームページをご覧ください。

問合せ先

森林整備課 森林整備係

電話：023-641-1212（代表）内線449・450

山形県山形市

四阿

【概要・アピールポイント】

- ・市有施設である西公園に、利用者が休憩したり景色を眺めて楽しむことができる四阿を設置した。
- ・東京2020大会レガシー材であることや木材利用の意義等をプレートに表示した。
- ・山形市公式ホームページでこれまでの取組みについてPRした。



■ 資材提供のきっかけ

プロジェクトへの参画を通して、山形市産材のPRや林業の活性化に寄与したいと考えて応募した。

■ 提供した木材の概要

山形市南西部の「山形県県民の森」内に位置する、標高約600m、面積約34haの山形市有林板橋山から、地元の西山形地区の皆さんが植林し、大切に手入れしてきたスギの木を約42m³提供した。

■ 用途

- ・四阿 2基

プロジェクト参画の証を大会レガシーとして後世に残すため、選手村ビレッジプラザで使用された木材を使って、市有施設である西公園に四阿を設置した。

■ 用途決定までのプロセス

西公園は、二酸化炭素を吸収・固定するという緑の働きに着目し、地球温暖化に貢献する緑豊かな公園として整備されたもので、市内外から多くの方が訪れるため、木の良さを楽しんでもらえるよう、四阿を設置するに至った。

■ 完成/使用開始時期

2022年7月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

- ①西公園バスケットコート前 ②西公園第2駐車場前

■ 完成まで・完成後のエピソード

- ・上記①の四阿の中央部に、選手村ビレッジプラザ採用されたレシプロカル架構を再現したモニュメントを配置した。
- ・木材に焼き印(刻印)があるため、公園を訪れる多くの市民の目に触れることで将来にわたるレガシーになれば良い。



問合せ先

森林整備課 森林整備係

電話：023-641-1212（代表）内線449・450

山形県山形市

小学校の建築材

【概要・アピールポイント】

- ・ 山形市立西山形小学校の建築材として、昇降口や教室の天井に活用した。
- ・ 山形市公式ホームページでこれまでの取組みについてPRした。



■ 資材提供のきっかけ

プロジェクトへの参画を通して、山形市産材のPRや林業の活性化に寄与したいと考えて応募した。

■ 提供した木材の概要

山形市南西部の「山形県民の森」内に位置する、標高約600m、面積約34haの山形市有林板橋山から、地元の西山形地区の皆さんが植林し、大切に手入れしてきたスギの木を約42m³提供した。

■ 用途

- ・ 西山形小学校の建築材

プロジェクト参画の証を大会レガシーとして後世に残すため、選手村ビレッジプラザで使用された木材を使って、山形市立西山形小学校の昇降口や教室の天井の建築材に活用した。

■ 用途決定までのプロセス

提供木材を伐り出した地元である西山形小学校の移転改築にあたり、多くの子ども達に木の良さに触れていただくとともに、レガシー材が後世に引き継がれるよう、建築材として活用するに至った。

■ 完成/供用開始時期

完成：2023年1月 供用開始：2023年2月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

山形市立西山形小学校の昇降口と教室の天井

■ 完成まで・完成後のエピソード

- ・ 昇降口では、小学校を訪れる方の玄関ゲートとして設置し、取組みをPRするため使用した跡をあえて残し見せる工夫をしている。
- ・ 教室の天井では、「Used In Village Plaza」の焼印箇所をランダムに配置することによって、子ども達に焼印を探してもらえるような遊び心のあるデザインとしている。



問合せ先

森林整備課 森林整備係

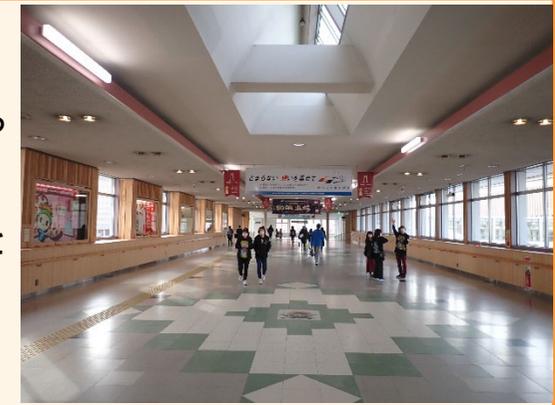
電話：023-641-1212（代表）内線449・450

山形県山形市

山形駅東西自由通路の壁面の木質化

【概要・アピールポイント】

- ・ 山形駅東西自由通路（通称：アピカ）の壁面を結晶化ガラス板から天然素材の木材に変更した。
- ・ 木がかもしだす温かさや香りにより、安らぎをあたえる歩行空間となった。
- ・ 完成式を開催し、これまでの取り組みについてPRした。



■ 資材提供のきっかけ

プロジェクトへの参画を通して、山形市産材のPRや林業の活性化に寄与したいと考えて応募した。

■ 提供した木材の概要

山形市南西部の「山形県県民の森」内に位置する、標高約600m、面積約34haの山形市有林板橋山から、地元の西山形地区の皆さんが植林し、大切に手入れしてきたスギの木を約42m³提供した。

■ 用途

- ・ 山形駅東西自由通路の壁面の木質化

北側壁面：延長47.7m 木質化面積71m²

南側壁面：延長55.3m 木質化面積145m²

プロジェクト参画の証を大会レガシーとして後世に残すため、選手村ビレッジプラザで使用された木材を使って、山形駅東西自由通路の壁面を木質化した。

■ 用途決定までのプロセス

山形駅東西自由通路は、観光客や通勤・通学者など多くの方が利用されているほか、県産品の展示・販売や山形の観光PRイベントなどにも活用されていることから、市民をはじめ、全国から訪問される方々に、山形市産材を直接見て触れていただき、市産材を広くPR出来るよう、山形駅東西自由通路の壁面の木質化に至った。

■ 完成/使用開始時期

2023年3月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など 山形駅東西自由通路の壁面（内装）

■ 完成まで・完成後のエピソード

- ・ 壁面のデザインは、山形市を代表する観光地（蔵王・山寺）をはじめ、自然豊かな山形を感じていただけるよう、山形の美しい木立（こだち）をイメージとして仕上げた。
- ・ 使用した木材に焼き印（刻印）があるため、山形駅東西自由通路を利用する多くの方々の目に触れることで将来にわたるレガシーになればよい。



問合せ先

山形市農林部 森林整備課 林道係

電話：023-641-1212（代表）内線449

山形県山形市

山形駅東西自由通路内の「本のひろば」と出前図書館用ブックワゴン

【概要・アピールポイント】

- ・気軽に本に親しんでもらう場所として、山形駅東西自由通路内に図書コーナー「本のひろば」を設置した。
- ・常時100冊程度の本を置いて、手続きすることなく、読んだり、借りたりすることができ、書棚を囲むベンチに座って読むもよし、持ち帰って読むもよし、いつでも自由に利用することができる。



■ 資材提供のきっかけ

プロジェクトへの参画を通して、山形市産材のPRや林業の活性化に寄与したいと考えて応募した。

■ 提供した木材の概要

山形市南西部の「山形県民の森」内に位置する、標高約600m、面積約34haの山形市有林板橋山から、地元の西山形地区の皆さんが植林し、大切に手入れしてきたスギの木を約42m³提供した。

■ 用途

- ・山形駅東西自由通路内の「本のひろば」

書棚 1基

イス（円形ベンチ型） 5基

出前図書館用ブックワゴン 2基

プロジェクト参画の証を大会レガシーとして後世に残すため、選手村ビレッジプラザで使用された木材を使って、山形駅東西自由通路内に「本のひろば」を設置し、また、出前図書館用のブックワゴンを製作した。

■ 用途決定までのプロセス

高校生をはじめ若年層に本に親しむ機会の提供と、普段は本や図書館に馴染みの薄い駅利用者に対し、図書館のPRを図るため、大会レガシーを活用した山形駅東西自由通路の壁面の木質化にあわせて、図書コーナーの設置と出前図書館用ブックワゴンの製作に至った。

■ 完成/使用開始時期

2023年3月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

山形駅東西自由通路内「本のひろば」の利用者及び出前図書館の利用者

■ 完成まで・完成後のエピソード

- ・書棚の一面に展示コーナーを設け、月替わりで芸術文化や経済界で活躍されている著名人等のお薦め本を展示している。
- ・隣接して開催される「やまがたえき まちなかマルシェ（主催：JR東日本）」と連動した取り組みを行っている。
- ・また、山形県立上山高等養護学校の生徒達が製作したブックワゴンは、様々なイベントで「出前図書館」として活用している。



イス（円形ベンチ型）



出前図書館用ブックワゴン

問合せ先

山形市農林部 森林整備課 林道係

電話：023-641-1212（代表）内線449

山形県山形市

山形市役所庁舎ベンチ、植樹祭会場用ベンチ

【概要・アピールポイント】

- ・税証明窓口の待合スペースに温かみのある木製のベンチを設置した。
- ・園児児童や地域住民と協働で植樹を行う「山形市植樹祭」で使用する木製ベンチを製作した。
- ・複数の人が同時に座れるようベンチタイプの椅子とした。



■ 資材提供のきっかけ

プロジェクトへの参画を通して、山形市産材のPRや林業の活性化に寄与したいと考えて応募した。

■ 提供した木材の概要

山形市南西部の「山形県県民の森」内に位置する、標高約600m、面積約34haの山形市有林板橋山から、地元の西山形地区の皆さんが植林し、大切に手入れしてきたスギの木を約42m³提供した。

■ 用途

- ・山形市役所庁舎ベンチ 10基
- ・植樹祭会場用ベンチ 18基

プロジェクト参画の証を大会レガシーとして後世に残すため、選手村ビレッジプラザで使用された木材を使って、ベンチを製作した。

■ 用途決定までのプロセス

市役所を訪れる多くの方々に、木の良さを知っていただくよう、木製ベンチを製作するに至った。

また、山形市が毎年実施している「植樹祭」で、山形市産材の良さを知っていただくため、組み立て式の木製ベンチを製作するに至った。

■ 完成/使用開始時期

2024年3月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など 山形市役所庁舎ベンチ、植樹祭会場用ベンチ

■ 完成まで・完成後のエピソード

- ・植樹祭会場用ベンチは、容易に持ち運びができるように、座面と脚を分離させ、現地での組み立て式とした。
- ・木材に焼き印（刻印）があるため、市役所を訪れる市民や、植樹祭に参加する方々の目に触れることで将来にわたるレガシーになればよい。



植樹祭会場用ベンチ



庁舎ベンチ

問合せ先

山形市農林部 森林整備課 林道係

電話：023-641-1212（代表）内線449